



# 誇りや環境を守る 文化を伝える

中山間地域等直接支払制度などの取組み

## 低下する 農地の多面的機能

高山市は、河川の上流域に位置する中山間地域（山間地域やその周辺）です。そこにある農地は、農業生産活動を通じて土地や水、そして景観を守る多面的機能を発揮し、私たちの暮らしを守っています。

しかし、高齢化や過疎化に伴い、全国的に農地や農業用水路などを維持する集落の地域力が低下する中、高山市でも農業者の高齢化が進み、平坦地域と比べて農業生産条件が不利であることから、農業の担い手や後継者の減少、耕作放棄地の増加な

どによって農地の多面的機能が低下しています。

## 地域ぐるみで 農地や景観を保全

こうした問題点を解決するため、「中山間地域等直接支払制度」や「農地・水・環境保全向上対策」を活用し、各地域で成果を挙げています。

この事業では、営農活動ばかりでなく、農山村景観（原風景）を守るために農業者をはじめ町内会や子ども会なども推進組織に加わり、ホタル生息地の保全活動や草刈り、清掃などの活動を通じて、農家と地元住民とのつながりや絆も深めています。



美しい滝町の棚田の景観



側溝の土砂上げ作業の様子

## 先人の歴史に学び これからの「農」を築く

### 地域の歴史、民俗、文化を伝承する取組み

にいぼりうわの  
新張上野地区（高山・丹生川地域）では、農地などの維持管理にあわせて、北アルプス（飛騨山脈）が一望できる地域の景観保護や歴史・民俗・文化を伝承する取組みを行っており、その一環として、昭和39年に発行された「上野平開拓事業史」の復刻版を作成しています。

また、この事業史を参考に、開拓当時の伝統料理、風習、地域の農業用水の要である「上野用水」の建設当時の秘話などを取りまとめた冊子の作成も目指しています。

同地区では、こうした取組みを通じて後継者や農家の担い手の育成や地域の活性化へつなげていきたいと考えています。



昭和39年発行の「上野平開拓事業史」

## 木炭やセラミック炭で ふるさとの川を浄化

### 環境向上に子ども会も一緒に水質調査

はっしやく  
久々野町内を流れる八尺川は、以前は水量も多く生息する生物も豊富でしたが、生活環境の変化に伴い水質が悪化し、生息する生物も減少してしまいました。そこで、西洞を守る会（代表＝谷口昭さん）では、2年前から清掃活動や農業排水路に木炭やセラミック炭を沈めて浄化させる活動に取り組み、今年も8月18日には地域の子ども会を対象に生き物調査と水質調査を行いました。

水質も年々良くなってきたためか、小魚、ホタル、カワナなどの生物も増えており、今後、調査結果を、町内の集会の場で発表し、地域ぐるみで環境向上に努めていくこととしています。



八尺川での生き物調査